

令和元年度地域学校協働活動実践交流会及び 第2回放課後子ども総合プラン指導者研修会

日 時：令和2年1月24日（金）9:30～15:10

会 場：長崎県庁行政棟1階 大会議室A・B

参加者数：115名

これからは地域の様々な団体がつながり協働することで、「学校を核とした地域づくり」を推進することが必要です。そこで、今年度は地域学校協働活動実践交流会と放課後子ども総合プラン指導者研修会を合同開催し、参加者に県内で実施されている様々な地域学校協働活動について理解を深めていただきました。また、他県の先進的な取組を聞くことで「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進」についても考えていただきました。

【内容】午前

◆実践発表及び交流会（第1部）

- ①地域学校協働活動の発表（通学合宿について）
南島原市社会教育委員
- ②放課後子ども総合プラン関係の発表（放課後児童クラブ関係）
NPO法人ひだまり会
- ③地域学校協働活動の発表（コミュニティ・スクールに向けた学校の取組）
長崎市立横尾小学校
- ④放課後子ども総合プラン関係の発表（地域子ども教室関係）
茂木トムソーヤーズクラブ

◆実践発表及び交流会（第2部）

- ⑤地域学校協働活動の発表（コミュニティ・スクール2年目：松っ子応援隊）
大村市立松原小学校学校運営協議会
- ⑥放課後子ども総合プラン関係の発表（放課後児童クラブ関係）
特定非営利活動法人おおくす児童クラブ
- ⑦地域学校協働活動の発表（コミュニティ・スクール町一体となった組織）
東彼杵町教育委員会
- ⑧放課後子ども総合プラン関係の発表（地域子ども教室関係）
西海市教育委員会



実践発表では、地域で行われている通学合宿の取組やコミュニティ・スクールに向けた学校の取組・コミュニティ・スクール2年目の地域の取組、コミュニティ・スクールを活用し町一体となった活動を行う組織、そして、地域子ども教室と放課後児童クラブの取組について発表いただきました。

交流会では、自分が興味を持ったブースで、更に詳しく話を聞き、疑問に答えていただくなど情報交換を行い、参加者・発表者双方にとって、有意義な時間となりました。

【感想】

- 家庭・地域の教育力低下の現状を変えるには、コミュニティ・スクールが必要であると感じた。
- 地域の特性を活かした通学合宿の活動が参考になった。自分の地域でも広めていきたい。
- いろいろな立場の方が集い、交流会で意見を交わし、勉強になった。
- 全てに感動！自分の活力にしていきたい。
- たくさんの実践にふれることができ、とても参考になった。今後も、新しい実践を聞かせてほしい。



【内容】 午後

◆インタビューダイアログ

テーマ「地域学校協働活動を推進するために」

広島県府中市教育委員会学校教育課

文部科学省総合教育政策局コミュニティ・スクール推進員

CSマイスター 宮田 幸治 氏

広島県府中市コミュニティ・スクール連絡協議会

広島県府中市立府中明郷学園学校運営協議会

会長 立石 克昭 氏



長崎県の「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進」のために、立石氏には、地域の側からどのように地域学校協働を進めたのか、また、宮田氏からは府中市のコミュニティ・スクールをどのように進めたのかについて、参加者からの質問を交えながらお話いただきました。

府中市のコミュニティ・スクールをリードされているお二人の熱量が伝わり、参加者の皆さんの心にも地域学校協働活動の種火がついたようです。立石会長の「いこるところに人は集まる」という言葉が印象的でした。※いこる＝広島地方で「炭などに火が灯っている様子」を表す言葉。

【感想】

- お二人の熱い想いに感動した。
- まずはできることを実践し、よさを皆さんに実感してもらうことが大事だと思った。
- 「いこるところに人は集まる」故郷で錦を折り続ける人を育てていきたい。
- 子どもを育て、地域を活性化させるWIN-WINの関係が素晴らしい。
- コミュニティ・スクールの全体像が見えてきた。

